

TOPICS 1 准組合員モニター 施設見学

8月22日(火)今年度より導入した制度、准組合員モニターの第2回施設見学を実施。今回は「宮農経済事業」に焦点を当て、能勢町にあるライスセンターや宮農経済センター、最後に農産物直売所「ほく彩館」に立ち寄り、出荷状況や旬の野菜・果物の紹介の後、買い物を楽しみました。各施設の所属長より、取り扱っている商品の紹介や各施設の役割について施設内を見学しながら説明があり、J Aや農業への理解を深めました。



TOPICS 2 「キヌヒカリ」粉の荷受け

9月1日(金)より能勢ライスセンターと豊能ライスセンターにて「キヌヒカリ」の粉の荷受けを開始し、脱穀されたばかりの粉が続々と運び込まれました。運び込まれたお米についてはJ A大阪北部ブランド米「シルク21」として販売しております。



TOPICS 7 1年目職員が 特産品「能勢栗」の 収穫・選果作業体験

9月27日(水)から10月4日(水)の間、入組1年目の職員が能勢栗の収穫と選果作業を体験しました。宮農担当職員指導の下、入組1年目の職員が自ら収穫作業や選果作業を行うことで、管内の特産品である「能勢栗」の知識を深めることを目的に実施しています。J A大阪北部では、能勢栗のブランド化をより一層図り、品質の向上や生産性を高める活動に注力しています。



TOPICS 8 直売所の日

10月2日(月)の「直売所の日」に合わせて、ほく彩館では、9月30日(土)から3日間、地元産食材の魅力伝えるために様々なイベントを開催し、「直売所の日」を盛り上げました。地産地消の重要性や地元産食材の魅力を伝えるために、①「栗祭り」②「新米の特売」③「能勢黒牛で新米を美味しく食べよう」④「産地直送果物販売」の4つのイベントを開催し、多くの来店者で賑わいました。



TOPICS 9 年金友の会 櫻井谷支部 日帰り親睦旅行

年金友の会櫻井谷支部では、10月4日(水)和歌山方面へ日帰り旅行を行いました。途中、いくつかの道の駅・金剛峰寺などを訪れ、買い物や見学を楽しみました。



TOPICS 3 「キヌヒカリ」の検査

9月5日(火)から令和5年度「キヌヒカリ」の検査を能勢宮農経済センターで開始しました。農産物検査員の資格を持つ職員が1袋ずつ米を取り出し、検査皿に乗せて、粒のそろい、着色米、被害米、水分含有量などを厳正に確認し、等級の格付けを行いました。

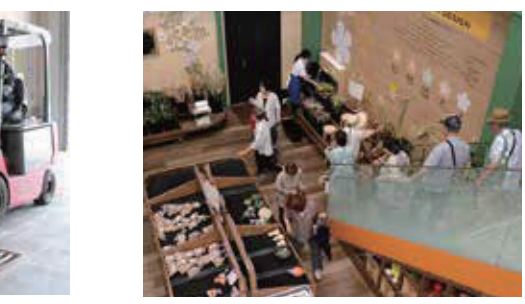


TOPICS 4 支店の「農業の応援団」プランターで野菜栽培

9月5日(火)から26日(火)にかけて全支店で「農業の応援団」を結成し、冬野菜プランター栽培講習会を行いました。「農業の応援団」とは、各支店において、J Aと共に地域農業を支えるパートナーとなり、J A運営に参加する機会づくりとして准組合員で構成。農作業を通じて「食と農」への理解を深め、地域農業に興味をもち、農産物の消費拡大に繋げることを目的としており、昨年度からスタートしています。

TOPICS 5 年金友の会 能勢東部会 日帰り親睦旅行

年金友の会能勢東部会では、9月5日(火)京都の丹後方面へ日帰り旅行を行いました。この日は舞鶴引揚記念館と赤レンガパークを見学し、親睦を深めました。



TOPICS 6 女性協議会 櫻井谷支部 手芸講習会

女性協議会櫻井谷支部では、9月26日(火)櫻井谷支店会議室において、手芸講習会を開催しました。今回は、既製の手さげカバンに好みの布を貼り合わせ、オリジナルの手さげカバンを完成させました。



TOPICS 10 池田市生産者組合 先進地視察

池田市生産者組合では、10月10日(火)滋賀県の朝日アグリ株式会社関西工場を訪れ、肥料の製造と野菜の使用について学びました。



TOPICS 11 准組合員モニター サツマイモ収穫体験

10月11日(水)准組合員モニターの第3回サツマイモ(鳴門金時・安納芋)収穫体験を実施。今回は能勢町にある平野の圃場に向かい、当日は29名のモニター全員が参加しました。次回は、年間の活動を振り返り、意見交換会を予定しています。



TOPICS 12 箕面市児童が 組合員の田んぼで稲刈り体験

10月17日(火)箕面市立西小学校5年生が箕面支店管内新稲地域の組合員圃場で、稲刈りと稲木掛けの体験学習を行いました。農業や米作りを学ぶ一環として6月に田植えをしたものを刈りました。



TOPICS 13 コンプライアンス・人権研修会

10月17日(火)業務終了後、池田市民文化会館にて役員を対象としたコンプライアンス・人権研修会を開催しました。コンプライアンス研修では、J A大阪中央会総合支援部 妙井翼氏よりコンプライアンスについての講演をしていただきました。また人権研修では、DVDを視聴し、通常業務・日常生活で起こりうる人権問題について改めて考えるきっかけとなりました。

